

第 37 回

定 期 決 算 総 会 議 案

平成28年度 事 業 報 告 書

平成28年度 正味財産増減計算書

貸 借 対 照 表

財 産 目 録

そ の 他

日 時 平成29年6月9日(金) AM 9:25 受付開始

場 所 赤 羽 会 館 大 ホール
北區赤羽南1-13-1 Tel 03-3901-8121

一般社団法人 **東京都医薬品配置協会**

※当日この資料を必ずご持参下さい。

第37回 決算総会式次第

司会 高見由紀子

午前9時50分～

1. 開会の辞 小川 副会長
2. 会長挨拶 高山 会長
3. 来賓祝辞
4. 議長選任
5. 定数報告及び議事録署名人の指名
6. 議案審議
 - 第一号議案 平成28年度事業報告承認の件 服部 副会長
 - 第二号議案 平成28年度決算報告承認の件 岡田 会計
監査報告 石倉 監事
 - 第三号議案 その他 服部 副会長
7. 表彰状授与
 - (1)永年勤続者表彰
 - ・配置販売業者表彰 60年
 - ・優良配置販売業者表彰
 - (2)受賞者代表謝辞
8. 閉会の辞 室井 副会長

注:正午より

第三回 資質向上講習会 午前11時45分受付 正午～午後16時40分

内容 : (第5章 一般用医薬品の適正使用・安全対策)

(第3章 主な医薬品とその作用)

講師 : 東京都薬用植物園 元園長 清水 虎雄 先生

東京都病院薬剤師会 元副会長

(有)丈夫屋顧問

今泉 眞知子 先生

スローガン

1. 先用後利の精神に則り都民の保健衛生向上に寄与しよう。
2. 配置薬によるセルフメディケーションを推進し、地域医療に参入しよう。

ごあいさつ

会 長 高 山 友 三 郎

昨年一年を表す漢字は「金」東京工業大学の大隅教授のノーベル賞受賞は3年連続の快挙であります。また、リオネジャネイロ五輪での日本の活躍・メダル総数41個という好成績をもって閉幕。夢の続きは東京へとバトンが渡されました。

7月には第24回参院選挙が行われ、自民公明両党は選挙区選・比例選とも着実に議席を伸ばし、改選定数の過半数を確保し大勝しました。国民の信任を得た事によりデフレ脱却に向けて経済政策アベノミクスを加速させる政権基盤が整ったと言えましょう。

この様な背景のもと、配置薬業界においても急速に進展する高齢化社会の中で、大変厳しい状況にあります。少子高齢化の進行に伴い、自分の健康は自分で守るというセルフメディケーションが特に大切な時代になりました。今年から一部の一般薬の購入費用について、所得控除ができる「セルフメディケーション税制」が施行されました。この制度が設けられた背景には年々増加する医療費問題があります。

昨年9月厚労省が発表した概算医療費の集計結果では、全国の医療機関に支払わせた医療費の概算は約42兆円にのぼり、13年連続で最高を更新しています。この税制は、国民のセルフメディケーションの推進を目的とすると共に、医療費の適正化につながるものと期待されているところです。新税制の対象品目は、現在配置向け34品目の内、既存配置業者が取り扱える物は14品目とまだ少ない状況ですが、この法制化をきっかけに、今後対象品目が拡大されるよう期待したいと思います。

配置従事者として、各家庭を訪問し、健康寿命の延伸を図る為、セルフメディケーションの重要性を説き、配置薬や健康食品などを用いた健康管理を推奨し、新しい配置販売制度の導入に伴い、配置販売にそのメリットを最大限に活用することも必要ではないかと考えます。

一般社団法人東京都医薬品配置協会では、会員の皆様一人一人の知恵と力を集結し、配置業界の新たな成長に向け、挑戦して参ります。

会員の皆様には、尚一層深いご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年度 事 業 報 告 書

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

一般社団法人東京都医薬品配置協会

[概 況]

昨年4月熊本県で最大震度7.3を観測、その後も熊本・大分両県では震度5～6強の地震が複数回発生した。8月には大型台風9・10.11号が関東・東北・北海道に次々と上陸、各地で記録的な大雨に見舞われ多くの人が犠牲になった。また、冬の大寒波がもたらした北海道から日本海沿岸の降雪地域での大豪雪と暴風雪でも多数の犠牲者が出るなど、現実の被害は想像を超える甚大さがあり、自然災害の多い一年となりました。

7月には第24回参院選が行われ、自民・公明両党は選挙区選、比例選とも改選定数の過半数を確保し大勝した。政治資金の私的流用問題などで批判を受け都知事が辞職、7月31日投開票され「首都の顔」に初めて女性が選ばれた。「開かれた都政」を訴えた小池都知事は、自民党への推薦依頼を取り下げ、組織を相手に孤軍奮闘政党の支持を受けた候補者らを退けた。

そんな中、今年の明るいニュースと言えば日本のノーベル賞受賞ラッシュが止まらない。東京工業大学の大隈良典教授は、この17年で17人目の受章者となり、3年連続の快挙となりました。また、8月には第31回夏季五輪リオネジャネイロ大会が開幕、南半球大陸初となる祭典が始まった。史上最多205ヶ国の選手らに加え、初めて結成された「難民選手団」の選手が五輪旗のもと入場。日本が過去最多となる金12・銀8・銅21 計41個のメダルを獲得。金メダル数は世界6位、メダル総数では7位という好成績をもって、17日間の全日程を終え、4年後の再開を誓い閉幕した。

他方、配置薬業界においては販売業者の減少に伴う生産性の低下、原料資材の高騰、市場競争の激化に加え、医薬品の有効性・安全性の確保に関する医薬品・医療機器等法による規制強化など配置販売業界を取り巻く環境は大変厳しいものがあります。既存の配置薬の中には販売量の減少により生産中止に至る品目も徐々に増えつつあり、その対策を講じる必要があると考えます。

一方販売面においては、配置従事者の高齢化とともに、従事者数が年々減少傾向にあり、これらの対策も急務であります。配置販売業は、古い歴史と伝統を誇る独特な販売システムであるが、先用後利の利便性が世の中にどの程度認知されているか、現代の若年層には予想外に低いと考えられます。

今後将来に備え原点に返り、広く認知度を高める努力が求められます。また、新しい医薬品販売制度の導入に伴い配置販売にそのメリットを最大限に活用しなければなりません。国の医療政策において、セルフメディケーションの推進が位置づけされ、今年1月から実

施されたセルフメディケーション税制については、病院へ行く事なく、一般薬で対応できることを分かりやすく説明するのも大事な仕事です。

国の方針に基づき、国民医療費の削減のため、健康の保持増進と病気予防に対する自主的な取り組みを促すものであり、その趣旨を十分理解し、広く消費者に啓蒙していくことが肝要です。

一般社団法人東京都医薬品配置協会では配置従事者の高齢化、会員の減少にともない、運営体制をよりスリム化し、息の長い組織活動と各種事業の充実を図り、全力で取り組んでいく所存でございます。

会員各位の一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

I 会 議 等

1. 決算総会 : 平成28年6月10日 なかのZERO小ホール

- (1) 平成27年度 事業報告、決算報告を承認
- (2) その他の件
- (3) 表彰状授与 優良配置業者 2名、永年勤続者6名

予算総会 : 平成29年3月10日 赤羽会館

- (1) 平成29年度 事業計画、収支予算案を承認

執行部会 4月12日 ① 決算総会資料作成準備

② 役員改選の件

12月9日 ① 平成29年度予算案作成の件

〔教育担当
委員含〕

4月12日 ① 講習会講師の件

② 講習会会場確保の件(なかのZERO工事の為)

③ 平成28年通信教育について再度検討

9月12日 ① 平成29年資質向上講習会内容検討会
講師先生方同席

② 資質向上講習会ホームページ掲載について

10月12日 ① 通信添削

役員会 5月13日 ① 監査会

② 決算承認、決算総会、協会会長表彰の件

③ 資質向上講習会の件

④ その他、行事の件

関東ブロック会、「ダメ。ゼッタイ。」都民の集い、委託講習会
通信教育、一斉献血、消費者講座(薬草勉強会)

1月27日 ① 平成29年度予算案の件

② 平成29年度事業計画の件

③ 29年第1～3回、予備日 資質向上講習会の件

③ 役員費用弁償費削減の件

2. 支部活動

各支部 : 4月に支部総会及び講習会実施

西部支部
(多摩支部) : 8月26日 薬草勉強会、「ダメ。ゼッタイ。」募金活動

多摩支部
西部支部 : 29年1月 多摩・西部支部合同新年総会・講習会

Ⅱ 事業内容

1. 教育事業

(1) 講習会

- ・ 薬事講習会（支部会員対象）

4月19日 東部支部 「花粉症」

講師：帝都組合 岩崎薬剤師

4月18日 多摩支部 「特殊詐欺について」

講師：武蔵野警察署 生活安全課。

4月18日 西部支部 「高血圧のはなし」

講師：武蔵野警察署 生活安全課より

合同実施

- ・ 薬事講習会：東京都より委託（東京都登録、全 配置販売業者対象）

11月25日 都民ホール

「最近の薬務行政について」

東京都福祉保健局健康安全部薬務課

薬事監視担当課長 河野安昭

「いま、なぜ薬用植物の国内栽培か・・・」

「危険ドラッグ手を出すな」

東京都薬物専門講師・元薬用植物園園長 清水虎雄

(2) 一定水準30時間資質向上講習会（東京都登録、全 配置販売業者対象）

4月21日 なかのZERO小ホール

第2章 人体の働きと医薬品

「腎臓その機能と病気」

東京都病院薬剤師会 元副会長 今泉眞知子

第3章 主な医薬品とその作用

「漢方処方製剤・生薬製剤」

「知識確認問題」

第4章 薬事関係法規・制度

「危険ドラッグに手を出すな」

東京都薬物専門講師・元薬用植物園園長 清水虎雄

6月10日 なかのZERO小ホール

第3章 主な医薬品とその作用

「呼吸器官に作用する薬」

「肺炎・市中肺炎」

第1章 医薬品に共通する特性と基本的知識

東京都病院薬剤師会 元副会長 今泉眞知子

8月5日 帝都医薬品配置協同組合会議室

第1章 医薬品に共通する特性と基本的知識

第2章 人体の働きと医薬品

第3章 主な医薬品とその作用

第4章 薬事関係法規・制度

第5章 一般用医薬品の適正使用・安全対策

第6章 リスク区分等の変更があった医薬品

第7章 配置販売業者に求められる理念・倫理・関連法規

東京都病院薬剤師会 元副会長 今泉眞知子

3月10日 赤羽会館

第1章 医薬品に共通する特性と基本的知識

第6章 リスク区分等の変更があった医薬品

第7章 配置販売業者に求められる理念・倫理・関連法規

東京都薬物専門講師・元薬用植物園園長 清水虎雄

第2章 人体の働きと医薬品

東京都病院薬剤師会 元副会長 今泉眞知子

2.都民に対する薬事知識の普及啓発事業

(1)消費者講座:8月26日 薬物乱用防止と薬草勉強会

参加者 28名 担当 西部支部(多摩支部)

園内にはキャラバンカーを呼び、東大和市駅前では多摩・東部・西部各支部員により「ダメ。ゼッタイ。」の募金活動が行われた。また、東京都薬務課麻薬対策担当主事の縄田勇樹 先生のお話と、(公社)東京生薬協会統括管理責任者山上勉 先生によるお話の後、山上先生による説明を聞きながら植物園内を見学。

(2)おきぐすり相談窓口

相談件数、今年度0件

3. 薬務行政協力事業

(1)麻薬・覚せい剤撲滅運動に対する協力

6月26日「6・26」国際麻薬乱用撲滅デー」都民の集い(東京都主催)

スカイツリータウン 東京ソラマチ4階 スカイアリーナ

高山会長以下30名が参加し、募金の呼びかけ、紙風船の配布等参加協力した。

(2)献血協力

10月23日:立川献血ルーム、献血ルーム池袋い〜すと、
新宿東口献血ルーム

当会員関係より41名の協力を得て、当日の総採血数419名の実績を残した。

4.配置薬業向上改善事業

(1)機関紙「あゆみ」 64号発行

(2)関係団体会議他出席

平成28年 5月18日 関東ブロック会定期総会

・・・於)神奈川

7月26日 全配協関係総会

・・・於)東京

配置部会総会・社員総会

10月19日 関東ブロック会

・・・於)埼玉

以上

平成28年度 正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで
(第37期)

(単位：円)

科 目	決 算 額			備 考
	当 年 度	前 年 度	増 減	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
1 受 取 会 費	5,300,000	6,035,000	△ 735,000	予算 { 甲 130名 : 乙 200名 } 決算 { 甲 134名 : 乙 162名 }
1 受 取 会 費	5,300,000	6,035,000	△ 735,000	
2 受 諾 事 業 収 益	633,000	681,000	△ 48,000	
1 全 配 協 補 助 金	50,000	50,000	0	資質向上対策還付金 (平成28年度分) 講習会費・都より委託費
2 資 質 向 上 対 策 費 助 成 金	376,000	424,000	△ 48,000	
3 東 京 都 委 託 金	207,000	207,000	0	
3 雑 収 益	1,362,716	1,758,533	△ 395,817	定期預金・普通預金 一定水準資質向上講習会受講料 会費徴収手数料、手引書 他
1 受 取 利 息	305	1,279	△ 974	
2 受 講 料 収 入	1,250,000	1,525,000	△ 275,000	
3 雑 収 益	112,411	232,254	△ 119,843	
経 常 収 益 計	7,295,716	8,474,533	△ 1,178,817	
(2) 経常費用				
1 事業費				
1 指導教育に関する事業費	4,375,535	4,790,643	△ 415,108	
1 講 習 会 費 (協 会)	1,025,132	1,266,327	△ 241,195	
1 講 師 料	215,000	215,000		一定水準資質向上講習会 4回実施。併せて446名参加 外部講師料・交通費・印刷製本 会場費・付帯設備費等 テキスト印刷製本等
2 賃 借 料	243,510	254,050		
3 旅 費 交 通 費	107,120	101,150		
4 通 信 運 搬 費	59,863	80,906		
5 印 刷 製 本 費	236,280	414,195		
6 費 用 弁 償	136,000	188,000		
7 記 録 費	1,336	4,494		
8 雑 費	26,023	8,532		
2 東京都委託講習会費	140,638	252,607	△ 111,969	
1 講 師 料	30,000	30,000		外部講師講演料 1回実施。60名参加 テキスト印刷製本等
2 賃 借 料	0	0		
3 旅 費 交 通 費	14,980	15,570		
4 通 信 運 搬 費	25,803	27,101		
5 印 刷 製 本 費	39,719	148,614		
6 費 用 弁 償 費	24,000	28,000		
7 記 録 費	672	0		
8 雑 費	5,464	3,322		
3 給 料 手 当	1,909,770	1,984,783	△ 75,013	

1	給料	1,909,770	1,984,783		職員全給料の2/3(含む残業手当)
4	賃借料	1,247,560	1,105,280	142,280	
1	賃借料	1,247,560	1,105,280		保証金償却 全賃借料の2/3
5	表彰費	52,435	181,646	△ 129,211	
1	記念品費	18,650	32,830		優良配置業者表彰
2	旅費交通費	5,060	14,060		永年勤続者表彰
3	通信運搬費	4,425	1,612		薬事功労賞関係表彰
4	印刷製本費	15,000	37,144		薬事功労表彰資料作成料
5	費用弁償費	9,300	16,000		
6	分担金	0	80,000		表彰祝賀会
2	薬事知識普及啓発のための事業費	332,069	342,902	△ 10,833	
1	都民への薬草勉強会費	234,309	245,142	△ 10,833	
1	広告宣伝費	109,232	105,072		薬草勉強会 都民参加
2	旅費交通費	25,500	39,950		実費交通費
3	通信運搬費	674	1,009		都立薬用植物園に於いて
4	印刷製本費	4,320	0		都民に呼びかけて開催
5	費用弁償費	63,000	53,000		
6	記録費	658	5,569		
7	雑費	30,925	40,542		
2	都民、消費者への情報開示費	97,760	97,760	0	
1	インターネット通信費	97,760	97,760		インターネットによる情報開示
3	薬事衛生事業への協力費	326,821	281,643	45,178	
1	献血促進活動費	108,906	95,943	12,963	
1	旅費交通費	74,260	56,300		お手伝い者実費交通費
2	通信運搬費	4,226	4,678		お手伝い者・協力者お礼
3	費用弁償費	30,000	33,000		
4	記録費	420	1,965		
2	麻薬撲滅活動協力費	217,915	185,700	32,215	
1	旅費交通費	56,590	33,420		「6・26国際麻薬乱用撲滅」
2	通信運搬費	973	2,971		都民の集いに協力
3	寄贈費	0	10,939		紙風船麻薬覚せい剤防止センター
4	印刷製本費	6,480	10,908		へ寄附(都委託料)
5	費用弁償費	153,000	127,000		
6	記録費	872	462		
4	相談事業費	0	0	0	
1	電話相談費	0	0	0	今年度電話相談なし
1	通信運搬費	0	0		
5	支部活動事業費	170,579	167,646	2,933	
1	支部活動事業費	170,579	167,646	2,933	
1	東部支部	35,088	38,201		実費精算方式
2	西部支部	48,551	50,062		
3	多摩支部	86,940	79,383		

6 情報収集及び刊行物発行費		64,800	84,800	△ 20,000	
1	機 関 紙 発 行 費	64,800	84,800	△ 20,000	
	1 費 用 弁 償 費	0	20,000		印刷
	2 通 信 運 搬 費	0	0		
	3 印 刷 製 本 費	64,800	64,800		
7 上 部 団 体 会 議 費		82,840	124,290	△ 41,450	内外関係団体へ出席
1	全 配 協 会 議 費	14,050	27,390	△ 13,340	
	1 会 議 費	0	0		会議費
	2 旅 費 交 通 費	4,050	10,390		
	3 費 用 弁 償 費	10,000	17,000		
2	関 東 フ ロ ッ ク 会 会 議 費	68,790	96,900	△ 28,110	
	1 会 議 費	30,000	40,000		会議費
	2 通 信 運 搬 費	0	0		
	3 旅 費 交 通 費	10,790	21,900		
	4 費 用 弁 償 費	28,000	35,000		交通費
事 業 費 計		5,352,644	5,791,924	△ 439,280	
2 管理費					
1	費 用 弁 償 費	194,000	205,000	△ 11,000	役員等
2	給 料 手 当	954,885	992,392	△ 37,507	職員給料(含む残業手当) 全給料の1/3
3	厚 生 費	583,582	568,076	15,506	職員 中退金掛金・社会保険料 他(法定)
4	全 配 協 負 担 金	112,000	120,100	△ 8,100	
5	関 東 フ ロ ッ ク 会 負 担 金	117,800	121,000	△ 3,200	
6	新 聞 図 書 費	101,264	152,312	△ 51,048	
7	旅 費 交 通 費	223,940	240,520	△ 16,580	職員定期代含む
8	通 信 運 搬 費	181,780	166,936	14,844	
9	什 器 備 品 費	58,519	0	58,519	
10	消 耗 品 費	481	10,668	△ 10,187	
11	修 繕 費	0	0	0	
12	印 刷 製 本 費	19,979	36,102	△ 16,123	総会資料等
13	水 道 光 熱 費	129,827	140,349	△ 10,522	
14	賃 借 料	623,780	552,640	71,140	事務所・会議室 保証金償却、全賃借料の1/3
15	手 数 料	182,760	186,337	△ 3,577	山田税務会計顧問料 会費徴収代行
16	損 害 保 険 料	2,957	2,926	31	
17	租 税 公 課	91,159	69,917	21,242	都民税
18	雑 費	171,075	201,752	△ 30,677	慶弔費他
管 理 費 計		3,749,788	3,767,027	△ 17,239	

経 常 費 用 計	9,102,432	9,558,951	△ 456,519	
当 期 経 常 増 減 額	△ 1,806,716	△ 1,084,418	△ 722,298	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経 常 外 収 益 計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経 常 外 費 用 計	0	0	0	
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,806,716	△ 1,084,418	△ 722,298	
一般正味財産期首残高	6,826,678	7,911,096	△ 1,084,418	
一般正味財産期末残高	5,019,962	6,826,678	△ 1,806,716	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	5,019,962	6,826,678	△ 1,806,716	

貸借対照表

平成29年3月31日

(第37期)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金	138,241	213,204	△ 74,963
普通預金	888,571	3,363,303	△ 2,474,732
振替貯金	1,147,298	96,730	1,050,568
当座預金	589	589	0
定期預金	3,350,000	3,350,000	0
仮払金	214,278	166,800	47,478
流動資産合計	5,738,977	7,190,626	△ 1,451,649
2.固定資産			
(1)基本財産	0	0	0
(2)特定資産	0	0	0
(3)その他固定資産			
電話加入権	95,154	95,154	0
保証金	0	204,000	△ 204,000
固定資産合計	95,154	299,154	△ 204,000
資 産 合 計	5,834,131	7,489,780	△ 1,655,649
II 負債の部			
1.流動負債			
前受会費	315,000	533,000	△ 218,000
預り金	499,169	130,102	369,067
流動負債合計	814,169	663,102	151,067
負 債 合 計	814,169	663,102	151,067
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
2.一般正味財産	5,019,962	6,826,678	△ 1,806,716
(うち特定財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	5,019,962	6,826,678	△ 1,806,716
負債及び正味財産合計	5,834,131	7,489,780	△ 1,655,649

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
該当なし
- (2) 固定資産の減価償却について
該当なし
- (3) 引当金の計上基準について
該当なし
- (4) 消費税等の会計処理方法について
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 会計方針の変更

該当なし

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小計	0	0	0	0
特定資産				
小計	0	0		0
合計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産から)	(うち一般正味財産から)	(うち負債に対応する)
基本財産				
小計	0	0	0	0
特定資産				
小計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

6 重要な後発事象

該当なし

財 産 目 録
平成29年3月31日
(第37期)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
現 金 現金手許有高	138,241		
普通預金 三菱東京UFJ銀行日暮里支店	888,571		
振替貯金	1,147,298		
当座預金 三菱東京UFJ銀行日暮里支店	589		
定期預金 三菱東京UFJ銀行日暮里支店	3,350,000		
仮 払 金 決算総会会場費等	214,278		
流動資産合計		5,738,977	
2. 固定資産			
(1)基本財産	0		
(2)特定資産	0		
(3)その他固定資産			
電話加入権	95,154		
保 証 金 帝都医薬品配置協同組合	0		
固定資産合計		95,154	
資 産 合 計			5,834,131
II 負債の部			
1.流動負債			
前受会費 平成29年度分	315,000		
預り金 源泉税、全配協費預り	499,169		
流動負債合計		814,169	
負 債 合 計			814,169
正 味 財 産			5,019,962

監 査 報 告 書

理事会により提示のありました事業報告書及び会計帳簿その他証憑、書類等を監査致しました結果、適正且つ正確であることを確認いたしました。

平成29年 5月 9日

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

監 事 石 倉 昌 則

監 事 野 村 明 正

監 査 報 告 書

平 成 29年 5月 9日

一般社団法人 東京都医薬品配置協会
会 長 高 山 友 三 郎 殿

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

監 事 石倉 昌 則 

監 事 野村 明 正 

私たち監事は、平成29年5月9日に、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき次のとおり報告致します。

1. 監査方法の概要

- (1) 決算書類の監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な検査、立会、照合及び報告の聴取その他通常とすべき必要な方法を用いて監査した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実はないと認めます。
- (4) 公益目的事業の実施が適正に行われたことを認めます。

以上

☆ 薬事功労賞受賞者芳名

厚生労働大臣賞 栗 田 勝 治

東京都知事感謝状 高 島 實
 高 見 由 紀 子

薬物乱用防止推進
協議会 会長感謝状 高 見 由 紀 子

薬物乱用防止関係
功労者知事感謝状 八 島 康 和

☆ 平成28年度 優良配置業者表彰者

東 部 支 部 広 瀬 勝 昌

多 摩 支 部 該 当 者 な し

西 部 支 部 スライ 富士子

☆ 永年勤続者賞

配 置 販 売 業 者

・60年 尾 塩 吉 則

(あいうえお順に記載)

会費等納入のお願いの件

本会は昭和55年4月の社団法人設立以来、今日まで医薬品のもつ倫理性及びその公益性に対する会員の皆様の充分なご理解と軽度の疾患に対するセルフメディケーションの推進並びに、その知識の啓発を通して地域住民の保健衛生確保のため努力を重ねてまいりました。本年もこの趣旨に沿い、各事業等を実施しており、これらの費用は会費をもって賄われております。

何卒上記ご理解の上、会費等の納入をお願い申し上げます。
※公益事業を円滑に遂行します上からも納入期限内(6月末日)までには是非ご協力をお願い致します。

名 称	金 額
(1) 協会費 平成29年度	
配置販売業者	19,000円
配置販売従事者(1名につき)	17,000円
(2) 全国配置薬協会賦課金	
全国体質強化費(対外交渉費等)	
配置販売業者	500円
配置販売従事者(1名につき)	500円
政治連盟費	
配置販売業者	500円
配置販売従事者(1名につき)	500円
資質向上対策費	
配置販売業者	3,000円
配置販売従事者(1名につき)	3,000円
合 計	
配置販売業者	23,000円
配置販売従事者(1名につき)	21,000円

☆全配協賦課金は他の都道府県にて納入している場合は必要ありません。